

行事の達人!

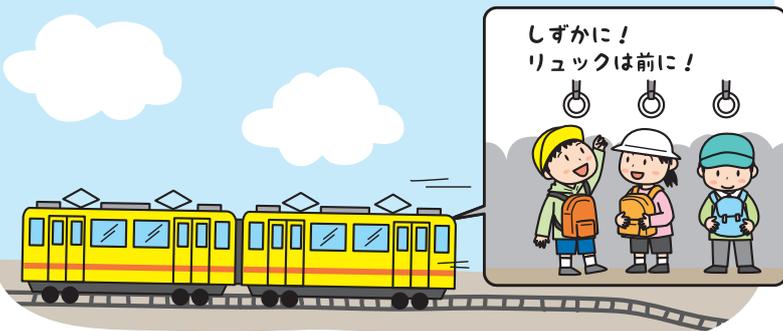
～「遠足」の巻～

社会性を身につけ、
子ども同士、子どもと先生の
人間関係を深め合うには!

「行事の達人!」では、
先生方の声をもとに、
学校行事を
全力で応援します!

移動①

- 公共の電車やバスに乗るときは、マナーに気をつける。
→ 乗ったらしゃべらない・絶対座らない・この程度空いていたら座ってよいなど、迷惑にならないルールをあらかじめ決めて、指導しておくとうい。
- どこで降りるかなども、自分たちで確認して行動するなど自律性をもたせたい。
- 公共交通機関等で、万が一はぐれてしまったときには、改札の駅員やバス停の近くにいる大人に相談することなどを確かめておく。



移動②

- 横断歩道の前では、2列の列から素早く4列になって、駆け足で渡る。事前に練習をさせておくとうスムーズ。



移動③

- 低学年では、遠足に行く前に、きちんと並んで歩く練習をさせておくとうい。

準備のコツ

遠足実施までの見通しをもとう!

実地踏査

- 春の遠足なら春休み中か始業式の午後、秋の遠足なら夏休み中など、学年で動けるときに行く。
- 現地では映像や画像を撮り、それらを事前指導で活用することで、子どものワクワク感を高める効果も。
- トイレの場所と数の確認は必須。

しおり作り

- 実地踏査後、期間を空けずに作成するとよい。例えば、しおりのフレームなどは前年度のデータが使えれば、内容の打ち変えだけで済む。
- 行動予定だけでなく、学年・学級、あるいは個人のめあてを書かせることで、子どもの主体性が高まる。

オリエンテーション

- 遠足のイメージを共有して当日を迎えるのとそうでないのとでは、子どものモチベーションや協働意識も違う。
- 一緒に楽しみたい! 早く行きたい! と思わせるように工夫をする。

必須の事務手続き

- 遠足・校外学習届けの作成 → 校長承認 → 教育委員会提出には期限があるので、早目に済ませる。
- 公共交通機関を使う場合は、団体券の購入手続きがある。JRと私鉄では手続きに違いもあるので、これも早目に!

その他

- 団体乗車券や団体割引券などの期限は、必ず確認!





高学年では、リーダーを中心に時間や活動の進行管理に自己責任をもたせて活動させることもできます。それが普段にも役立つように仕向けます。



「みんなで楽しく〜」というめあてがはっきりしているので、行動の約束などを子ども自身に考えさせることができますね。



遠足は学級や学年づくりの大きなチャンス。楽しみながらも守るべきルールを身につけさせることができますね。

「遠足」とは…
特別活動の中の「遠足・集団宿泊的行事」に位置づけられ、人間関係などの集団生活のあり方や、公衆道徳などについての望ましい体験を積むことができるような活動を行うこととされている。

先生も一緒に

- 遊びのゲーム計画を立てておいて、先生も一緒に遊ぶ時間や、グループワークを入れるなどして楽しみたい。

先生も、安全管理の目を持ちながら一緒に盛り上がりよう！



指導

- 低学年の事前指導では、注意したいこと・指導場面を大きな紙に書いて出すのも効果的。当日の朝や本番でも使える。特に電車などの中では先生が大きな声で注意しなくても、気をつけることが子どもたちに伝わる。その際、書く字の大きさには注意。



自己管理

- 高学年では、先生に行程を聞かなくても自己管理できるようにさせたい。計画はしっかりと、しおりを見て行動させる。



水筒・おやつ

- 水筒の水は計画的に飲むように指導する。目安なども伝えよう。（山登りなどの場合は、先生が余分に持っていくと安心。）
- 水筒の大きさや水の量などを学年だよりに書いておく。
- おやつを持たせる、持たせない、など、学校独自のルールをあらかじめ固めておく。（アレルギーの意識も大切!）



帰宅時

- 帰校時刻に保護者が迎えに来る場合は、予定時間より早まったり、遅くなってしまったりしたときには、メール配信やホームページなどで学校から知らせる。

楽しかったね



安全管理

- 子どもたちに独自の目印を身につけさせることで、他校の遠足と一緒にしても安心。

こんなトラブルに注意!

実際にあつた遠足エピソード

電車で移動する際、後ろの方で待っているようにと駅員さんから言われ、8両目の乗り口で待っていたら、短い6両編成の電車が来てしまって、乗り遅れそうになりました。実地踏査で、乗る車両のことも気をつけておけばよかったと反省しました。

